



1000 シリーズのクイック・デモ

ユーザ・インタフェース

垂直コントロール

1. 垂直コントロールは、波形に合わせて色分けされています。大きなノブを使用して、電圧/div を 1-2.5 シークンスで設定できます。ノブを押すと、バーニア・モードになり、電圧を 0.1 mV 単位で調整できます。
2. **[Channel 1]** を押して、垂直メニューを表示します (1/2 の横のボタンを押して、すべてのメニュー・オプションを表示します)。
3. **[Channel 1]** を再度押して、チャンネルをオフにします。もう一度押せば (3 回目)、チャンネルが再表示されます。

水平コントロール

1. Horizontal セクションでは、大きなノブで時間/div を 1-2.5 シークンスで設定します。
2. 大きなノブを押して、ズーム表示モードをオンにします。これにより、信号の全体と詳細の両方が表示されます。大きな時間/div ノブで、ズーム・ウィンドウの幅を制御します。ノブを再度押して、元のビューに戻ります (ズームをオフにします)。
3. **[Menu/Zoom]** を押すと、その他のタイムベース・オプションにアクセスできます。
4. 小さなノブで、トリガ・ポイントからの遅延を設定できます。ノブを押して、オフセットをゼロにリセットします。

トリガ・コントロール

1. **[Force]** を使って、トリガ条件を強制的に発生されます。
2. **[Trigger Level]** を押すと、トリガ・レベルがトリガ・ソースのピーク間の 50 % に設定されます。
3. Trigger **[Menu]** を使用して、Edge、Pulse、Video、Pattern、Alternate Channel などの、さまざまなトリガ・モードを選択できます。

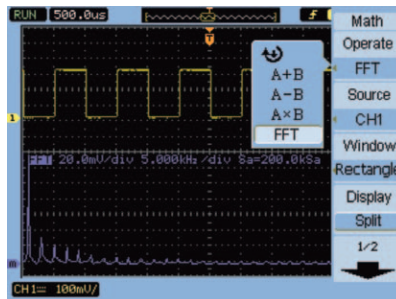
最初の接続

1. チャンネル 1 をオシロスコープのフロントパネルにある Probe Comp ピンに接続します。
2. フロントパネルの **[Default Setup]** **[AutoScale]** を押します。
3. **[Menu On/Off]** を押し、メニューをオフにすることにより、同等の大きさのディスプレイを装備したオシロスコープよりも、信号表示領域が 25 % 広がります。

測定、演算、カーソル

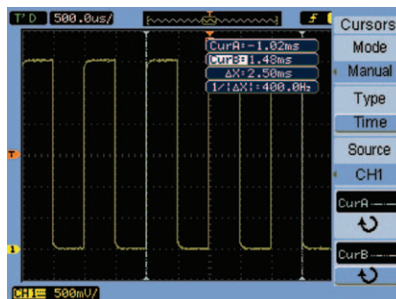
演算

Vertical セクションの **[Math]** を押して、4 つの演算機能 (A+B、A-B、A*B、FFT) のどれかを選択します。**[Math]** を再度押して、機能をオフにします。



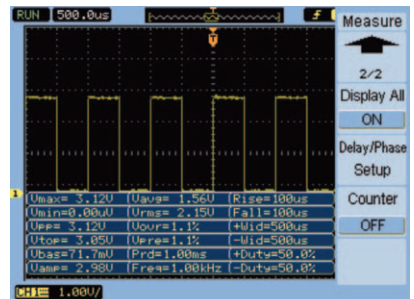
カーソル

1. **[Cursors]** を押して、カーソル測定をオンにします。Cursors を、Manual、Track、Auto、Off に設定できます。
2. **Manual** を選択し、4 番目のソフトキー **CurA** を押します。Selection knob を回して Cursor A を目的のエッジに配置し、トリガを基準にした時間を表示します。
3. **[Cursors]** を再度押し、5 番目のソフトキー **CurB** を選択して、Cursor B を別のエッジに配置します。
4. **[Cursors]** を再度押し、カーソルとカーソル測定をオフにします。



自動測定

1. **[Measure]** を押します。信号源が CH 1 であることを確認します。Voltage を押し、(現在、点灯している) selection knob を使用して任意の電圧測定を選択します。DSO1000A オシロスコープには、5 Hz からオシロスコープの帯域幅まで測定できる、6 桁のハードウェア周波数カウンタが内蔵されています。
2. **1/2** を押して、Measure メニューの 2 ページ目を表示します。Display all を ON に切り替えます。ディスプレイには現在、22 種類の測定のうち 18 種類が表示されています。
3. **Display all** を再度押して、測定をオフにします。
4. **[Measure]** を再度押して、自動測定をオフにします。



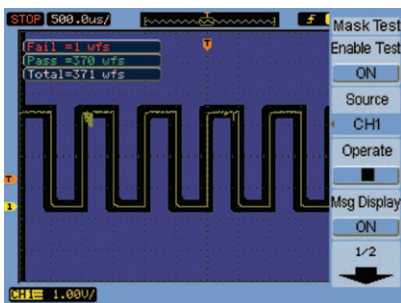
Agilent Technologies

驚くほど強力な機能

合否マスク・テスト

マスク・テスト機能は、波形の変化をモニターするために、波形を定義済みマスクまたは「ゴールデン」波形と比較します。

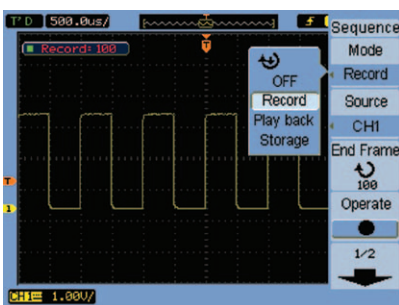
1. **[Utility] Mask Test** (ページ 1/2) メニューの **Enable Test ON** を選択して、マスク・テストをオンにします。
2. **Mask Setting** (**Mask Test** のページ 2/2)、**Create Mask** を選択して、マスクを作成します。
3. **Operate** (ページ 1/2) を選択して、テストを実行または停止します。**Msg Display** をオンにして、テスト中の波形の数をモニターします。
4. チャンネル 1 に接続されたプローブを小刻みに動かすか、一時的に切断して、不具合を発生させ、マスク・テストを停止します。
5. **Enable Test** を押して、この機能をオフにします。



ソフトウェア・フィルタ

ソフトウェア・フィルタを使用すると、信号のスペクトラム成分を分離できます。リップル電流、変調信号の分離、またはノイズの抑制に有効なツールです。

1. **[Default Setup] [AutoScale]** を押します。
2. **Channel 1** を押して、そのメニューを表示します。
3. **Digital Filter** を選択します。
4. フィルタを **On** に切り替えます。
5. **Selection knob** を使用して、**Upper limit** 帯域幅を 49 kHz から 1 kHz (最小値) に変更します。1 kHz 方形波のエッジが失われ、正弦波へと変化し始める様子を観察します。ハイパス・フィルタ、バンドパス・フィルタ、バンド・リジェクト・フィルタも使用できます。



シーケンス・モード

任意の入力チャンネル、またはマスク・テスト出力からの波形を記録、再生、保存できます。マスク・テスト出力を記録する機能は、異常波形を長期間捕捉する場合に非常に有効です。

1. 波形を記録するには、**[Acquire] Sequence** を押します。**[Mode] Record** を押します。
2. **Selection knob** を回して、記録するフレームの数を **100** にします。最大 1000 フレームを記録できます。
3. **Operate** を押して、オシロスコープのメモリに波形を記録します。
4. **[Mode]** を押して **Playback** を選択し、**Operate** を押して、画面に 100 個の保存済み波形を表示します。

アジレント・テクノロジー株式会社
本社 〒 192-8510 東京都八王子市高倉町 9-1

計測お客様窓口

受付時間 9:00-18:00 (土・日・祭日を除く)

TEL ■■ 0120-421-345
(042-656-7832)
FAX ■■ 0120-421-678
(042-656-7840)

Email contact_japan@agilent.com

電子計測ホームページ

www.agilent.co.jp

● 記載事項は変更になる場合があります。
ご発注の際はご確認ください。

© Agilent Technologies, Inc. 2009

Published in Japan, May 25, 2009
5989-8525JAJP
0000-00DEP



Agilent Technologies